



JREU TOKYO

業務部速報



2024.5.02 No.043

発行：JR東労組東京地本 業務部

・首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について

・「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」の一部修正について

首都圏本部より2件の提案を受ける！！その④

「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」 の一部修正について

2023年5月に提案を行った「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」は、以下のとおり提案内容を一部修正する。

1 修正内容

2023年5月に提案を行った「上野東京ライン・湘南新宿ラインの乗務員基地再編について」で示した、「東京運輸区(仮称)」の設置は行わず、「東京統括センター(仮称)」の担務として再編する。

2 修正理由

2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示した「統括センターの新設および管轄区分の見直し」を実施するため。

3 その他

具体的な実施日等については、2024年4月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」で示した通りとする。

● 提案時の主なやりとり

組合：今回の提案は廃案ではないか。修正なのか。

会社：今回の統括センター化によって目的が変わるわけではない。廃案は全て示している内容をゼロにするというイメージ。概要提案以降、示した内容であれば、全てゼロではない。

組合：東京車掌区と田町運転区で東京運輸区(仮称)設立に向けてワーキンググループはどこまで動いていたのか？

会社：レイアウトのワーキングが動き始めた。これまでの議論が無になるわけではない。私たちが重く受け止めている。

組合：埼京運輸区設立に向けての解明交渉で大宮支社の廃案は職場では混乱したと議論してきた。また現場を修正提案で混乱させるという認識はあるのか。

会社：現場も首都圏本部の中でも思いがあってやってきた。社員のフォローが必要と考えている。

組合：今回は(修正提案は)イレギュラーだと思っていいいのか。

会社：認識は一致する。

組合：前段に運輸区を作ってから統括センターではなく、いきなり統括センターとなるが、統括センターを作るありきではないか。

会社：主張は受け止める。乗務範囲が大きく変わることはない。すぐに駅の仕事をやる事は想定していない。

組合：本日の1件目の議論の中で埼京運輸区と丸の内運輸区は、運輸区として、しっかりスタートを切ってから統括センターにしたいという先程の議論からすると矛盾しているのではないか。

会社：「東京運輸区(仮称)の業務をしっかりスタートさせたい、足元をまず固めてから」という考えは変わらない。

組合：それならばなぜ、東京運輸区(仮称)の設立を中止してまで、統括センターに組み込む必要があるのか。現場で働く社員は統括センター設立のスケジュールありきとしか感じられない。

会社：提案から施策実施まで約1年という期間を設けてある。それも踏まえて総合的に判断した。段階を踏んでの実施という主張はよくわかる。運転士と車掌が1つの職場になることに労力が必要なことも把握はしている。